



平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月13日

上場会社名 株式会社 ナイガイ
 コード番号 8013 URL <http://www.naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 泉 潔
 (氏名) 市原 聡

TEL 03-5822-3810

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	3,646	△3.4	△136	—	△67	—	△79	—
25年1月期第1四半期	3,774	1.3	75	64.3	93	111.6	85	415.1

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 512百万円 (205.8%) 25年1月期第1四半期 167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	△0.96	—
25年1月期第1四半期	1.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第1四半期	14,060	8,235	58.4	100.00
25年1月期	13,177	7,722	58.5	93.79

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 8,213百万円 25年1月期 7,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	—	—	0.00	0.00
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	0.8	△90	—	△85	—	△100	—	△1.35
通期	18,000	3.8	200	—	150	15.6	120	13.3	1.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期1Q	82,172,815 株	25年1月期	82,172,815 株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	36,000 株	25年1月期	34,044 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期1Q	82,137,619 株	25年1月期1Q	74,005,157 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．継続企業の前提に関する重要事象等	3
4．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、アベノミクスへの期待感から、輸出企業を中心に改善の兆しも見られ、4月に発表された日銀による異次元金融緩和などを受け、さらに円安、株高が進んだことなどもあり、国内景気は緩やかに上昇するとの予測も出てきました。しかしながら、個人消費につきましては、一部では株価上昇による資産効果や景気回復への期待感による消費マインドの好転を背景に、上質な商品・サービスを求める傾向が強まり、高額品消費を中心に回復の兆しを見せるものの、全般的には、生活者実感としての景気回復感の浸透には及ばず、依然慎重な購買姿勢が続いております。

衣料品業界におきましても、百貨店を中心に一部では回復傾向は見られるものの、月度の市況については、天候に左右されるなど不安定な推移となりました。

こうした中、当社グループは、先に公表いたしました第2次中期経営計画の重点施策に基づき、持続的な成長に向けた基盤づくりを目指し、実務者レベルでの新たに施策実行プロジェクトを立ち上げ、マーケティング機能の強化、新ブランド開発、紳士レッグ&インナー事業の強化、ネット通販事業の拡大、SCMの効率改善など、増収、増益に向けた取り組みを開始いたしました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間につきましては、通信販売はテレビ通販、インターネット通販ともに概ね計画通りの販売で順調に推移した一方で、主力の卸売り事業では、レッグウェアの春物新商品の販売はほぼ計画通り進捗できたものの、秋冬商品の返品が計画を大きく上回ったことに加え、新規に展開を開始した紳士アンダーウェアでも、店頭在庫入れ替えの遅れなどから投入実績が計画に届かず、全体では当初計画を下回る販売となりました。また、上記の計画乖離に加え、既に織り込み済みではありますが、為替相場が前年同期に対して大幅な円安に振れたことによる、海外生産商品の仕入原価上昇もあり、連結営業損益は前年を大きく下回る状況となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,646百万円（前年同期比3.4%減）、営業損失は136百万円（前年同期比212百万円の減益）、経常損失は為替予約評価による差益を加え67百万円（前年同期比161百万円の減益）、四半期純損失は79百万円（前年同期比164百万円の減益）となりました。

セグメント別の業績概要は以下の通りです。

(卸売り事業)

卸売り事業の主体であるレッグウェア事業では、百貨店販路は紳士靴下、婦人靴下ともに、店頭のプロパー販売が、2月は天候不順の影響もあり、セール先行となりましたが、3月以降は概ね前年を上回るペースで好調に推移したものの、卸売り販売については、返品増加と紳士肌着の投入減もあり厳しい結果となりました。商品動向では、紳士靴下は新ブランド「タケオキクチ」が好調に牽引したほか、アイテム的にはショートソックス、ペッツシリーズが売れ筋に浮上、婦人パンスト及び靴下では、パンストがオケージョン需要に伴い立ち上がりから好調に推移し、4月に入ってからブランドソックスがカジュアルアイテム中心に売上を伸ばしました。

量販店販路については、店頭販売は全般的に盛り上がりには欠け、前年レベルを上下する推移となり、卸売りでも、店頭不振の影響から、主力のPB商品、定番商品の追加投入が遅れ、当初見込を若干下回る状況となりました。商品動向については、婦人フットカバー、子供の「プーマ」スポーツソックスは好調に推移しましたが、紳士ビジネスソックス、婦人定番アイテムは動きが鈍く苦戦しました。

その他卸売り事業の株式会社NAP、ロンデックス、OEM、輸出、海外子会社の各事業については概ね計画通りの進捗で推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間での卸売り事業全体の売上高は、返品の影響もあり2,880百万円（前年同期比1.1%減）、営業損失は、円安による海外生産品の原価上昇なども影響し134百万円（前年同期比217百万円の減益）となりました。

(通信販売事業)

第2次中期経営計画での強化セグメントとなる通信販売事業につきましては、株式会社ナイガイ・イムが、主力のテレビショッピングで既存ブランド、新ブランドともに順調な滑り出しとなり、プロパー放映でも計画を上回る販売消化率を達成し復調の推移となったものの、WEBで展開するショッピングサイト、イムネットの販売が伸び悩み苦戦を強いられたことなどから、チャネル全体での売上高は当初見込を若干下回る進捗となりました。営業利益につきましては、好調なテレビ販売が寄与し当初計画を上回る結果となりました。

インターネットショッピングを展開するセンチーレワン株式会社は、新生活や母の日などの季節需要を取り込み、主力のバッグ楽天モールの売上が大きく伸長した他、レグウェアを展開するグラナージュでも定番の着圧系機能ソックスや冷え取り重ね履きシルクソックスが好調に売上を伸ばすことができ、さらにネットモールの催事で購買成約率を増加させたことなども寄与して前年を大きく上回る増収、増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間での通信販売事業全体の売上高は815百万円(前年同期比8.5%減)、営業損失は2百万円(前年同期比3百万円の増益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して883百万円増加し、14,060百万円となりました。流動資産では、現金及び預金が475百万円、受取手形及び売掛金が363百万円減少し、商品及び製品が969百万円増加しました。固定資産では、投資有価証券が時価の上昇により751百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に対して370百万円増加し、5,825百万円となりました。支払手形及び買掛金が563百万円増加し、短期借入金が236百万円、返品調整引当金が112百万円減少しました。

純資産につきましては、四半期純損失79百万円とその他有価証券評価差額金の増加546百万円等により、前連結会計年度末に対して512百万円増加し、8,235百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様の58.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年1月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年3月15日に公表いたしました業績予想から、本資料公表時点での変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,835	3,360
受取手形及び売掛金	3,147	2,783
商品及び製品	2,764	3,733
仕掛品	10	23
原材料及び貯蔵品	74	79
その他	392	346
貸倒引当金	27	30
流動資産合計	10,197	10,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50	48
土地	66	74
その他(純額)	128	134
有形固定資産合計	245	256
無形固定資産		
投資その他の資産	357	375
投資有価証券	2,169	2,921
その他	249	242
貸倒引当金	42	32
投資その他の資産合計	2,376	3,132
固定資産合計	2,979	3,764
資産合計	13,177	14,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,785	2,348
短期借入金	1,196	960
未払法人税等	33	21
賞与引当金	31	63
返品調整引当金	331	219
その他	663	588
流動負債合計	4,041	4,201
固定負債		
長期借入金	250	230
退職給付引当金	983	1,009
繰延税金負債	145	348
その他	34	34
固定負債合計	1,413	1,623
負債合計	5,454	5,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	7,691
資本剰余金	6,782	6,782
利益剰余金	6,981	7,060
自己株式	6	6
株主資本合計	7,487	7,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	223	769
為替換算調整勘定	7	35
その他の包括利益累計額合計	216	805
少数株主持分	18	21
純資産合計	7,722	8,235
負債純資産合計	13,177	14,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
売上高	3,774	3,646
売上原価	2,279	2,286
売上総利益	1,494	1,359
販売費及び一般管理費	1,418	1,496
営業利益又は営業損失()	75	136
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	25	65
持分法による投資利益	-	2
その他	9	10
営業外収益合計	35	79
営業外費用		
支払利息	10	8
持分法による投資損失	4	-
その他	2	2
営業外費用合計	17	10
経常利益又は経常損失()	93	67
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	93	67
法人税、住民税及び事業税	7	10
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	7	10
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	85	78
少数株主利益	0	1
四半期純利益又は四半期純損失()	85	79

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年 4 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月 1 日 至 平成25年 4 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	85	78
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	519
為替換算調整勘定	19	44
持分法適用会社に対する持分相当額	5	26
その他の包括利益合計	81	590
四半期包括利益	167	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	510
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,883	890	3,774	-	3,774
セグメント間の内部売上高又は 振替高	29	-	29	29	-
計	2,912	890	3,803	29	3,774
セグメント利益又は損失()	82	6	75	0	75

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,830	815	3,646	-	3,646
セグメント間の内部売上高又は 振替高	49	-	49	49	-
計	2,880	815	3,695	49	3,646
セグメント利益又は損失()	134	2	137	0	136

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。